2.G.2.- 断熱性用途：靴、タイヤ
（Adiabatic Properties: Shoes and Tyres）（SF_6, PFCs）

１．排出・吸収源の概要

１.１ 排出・吸収源の対象及び温室効果ガス排出メカニズム

断熱性用途のゴム（靴、タイヤ及びテニスボール等）の製造において SF_6 及び PFCs が使用されており、SF_6 及び PFCs が使用された運動靴のソール、自動車のタイヤ、テニスボール等から一定期間を経て（主として廃棄時に）SF_6 及び PFCs が排出される。

2013 年度の検討において、国内での断熱性用途のゴムにおける SF_6 及び PFCs の使用実績について確認したところ、使用実績が確認されなかったことから、現時点では「NO：ガスの排出・吸収に結びつく活動が存在しない」として報告している。

１.２ 排出・吸収トレンド及びその要因

記載事項なし。

２．排出・吸収量算定方法

記載事項なし。

３．算定方法の時系列変更・改善経緯

表 1　初期割当量報告書（2006 年提出）以降の算定方法等の改訂経緯概要

	2015 年提出
排出・吸収量算定式	2006 年 IPCC ガイドラインの適用に伴い、新たに対象となった本排出源の排出状況を確認。
排出係数	－
活動量	－

（１）初期割当量報告書における算定方法

2006 年 IPCC ガイドラインから新たに追加された排出源であり、初期割当量報告書では算定していなかった。

（２）2015 年提出インベントリにおける算定方法

2006 年 IPCC ガイドラインにおいて、本排出源が新たに追加されたため、算定方法を検討したが、断熱性用途のゴムにおける SF_6 及び PFCs の使用実績が確認されなかったことから、「NO」と報告することとした（現行の算定方法と同様。）。